

交通事故をなくそう

交通死亡事故多発非常事態宣言

安全運転5則のちかい

- ① 飲酒運転は絶対にしない
- ② 安全速度を必ず守る
- ③ カーブの手前でスピードを落とす
- ④ 交差点では必ず安全を確認める
- ⑤ 一時停止で横断歩行者の安全を守る

やめよう無謀運転



宣言文を読む高部市長

五月九日午前十時より谷村第一小学校々庭において、自治会代表、交通安全協会役員、婦人会、消防団、保育園児など市民三百五十人が集まって非常事態宣言大会が開かれました。

この大会は、四月に入り多発した死亡事故という憂慮すべき事態に対し「私たちの地域から交通事故をなくすために一人ひとりが交通規則を守ろう」を統一テーマに行われたものです。

都留警察署長のあいさつの後、都留市長が「市民が一九となつて死亡事故を抑止」という内

容の宣言文を読み上げ、これに対し各団体代表者が決意を表明しました。

最後に、都留市消防長の首唱につづき「安全運転5則の誓い」を参加者全員で斉唱し、事故防止を誓い合つてこの大会を閉じました。

交通死亡事故多発非常事態宣言

交通事故をなくし安全で明るい社会を築くことは市民共通の願ひであります。

このため本市では交通安全対策を市政の重要施策として関係機関・団体の協力のもとに市民総ぐるみで取り組んでまいりました。この結果交通事故による死者は年々減少を続け昨年昨年共に一名と、ほぼその目的を達成することができました。

しかしながら本年に入り関係者の懸命な努力にもかかわらず、件数、死者数、負傷者数ともに異常なペースで発生しており極めて憂慮される厳しい事態となっております。このような事態を速やかに打開し尊い命を守るため余市民が一丸となって交通死亡事故を抑止するよう非常事態を宣言します。

昭和五十年五月九日

都留市長 高部通正

